

図 4-10 電子納品・保管管理システム

4.2.3.3 検討内容

(1) 電子納品システムの機能

「電子納品システム」の機能は、以下の2項目について考慮し検討した。

①各事務所で管理している電子納品成果物 CD（副）を北技において保管し、「電子納品システム」への登録を行い、各事務所では、登録した成果品の検索・閲覧・ダウンロードが可能とした。

②提供するデータ

「電子納品システム」では、表 4-4 のとおりの内容の検索・閲覧が可能とした。

表 4-4 電子納品システムで検索・閲覧できる内容

工事	工事情報：工事概要等に関連する諸情報 図面：CAD データ等の閲覧
設計業務	業務内容：業務に関連する諸情報 報告書：PDF で閲覧
地質調査	作業内容：作業に関する諸情報 報告書：PDF で閲覧 その他：TRABIS と連携させデータ送信を可能とした

(2) 受付管理システムの開発について

①システムの概要

各事務所から送付されてくる電子納品 CD を、受付から「電子納品システム」に登録するまでの間、円滑に業務が進むように北技が効率的に一元管理する。図 4-11 に受付管理システムのトップ画面、図 4-12、図 4-13 に当システムの流れおよび導入・運用を示す。

②システム運用の流れ

送付する電子納品 CD について、各事務所でクライアントパソコンにより「受付管理システム」で受付を行い、「送付書（受付時に所定様式に入力）」といっしょに北技に送付する。

事務所から送付された電子納品 CD について、北技で「受付管理システム」によりチェックし、エラーがないことを確認後、「受付管理システム」をとおして「保管管理システム」に登録する（図 4-14）。



図 4-11 電子納品システムのトップ画面



図 4-12 受付管理システムのトップ画面



図 4-13 受付管理の流れ

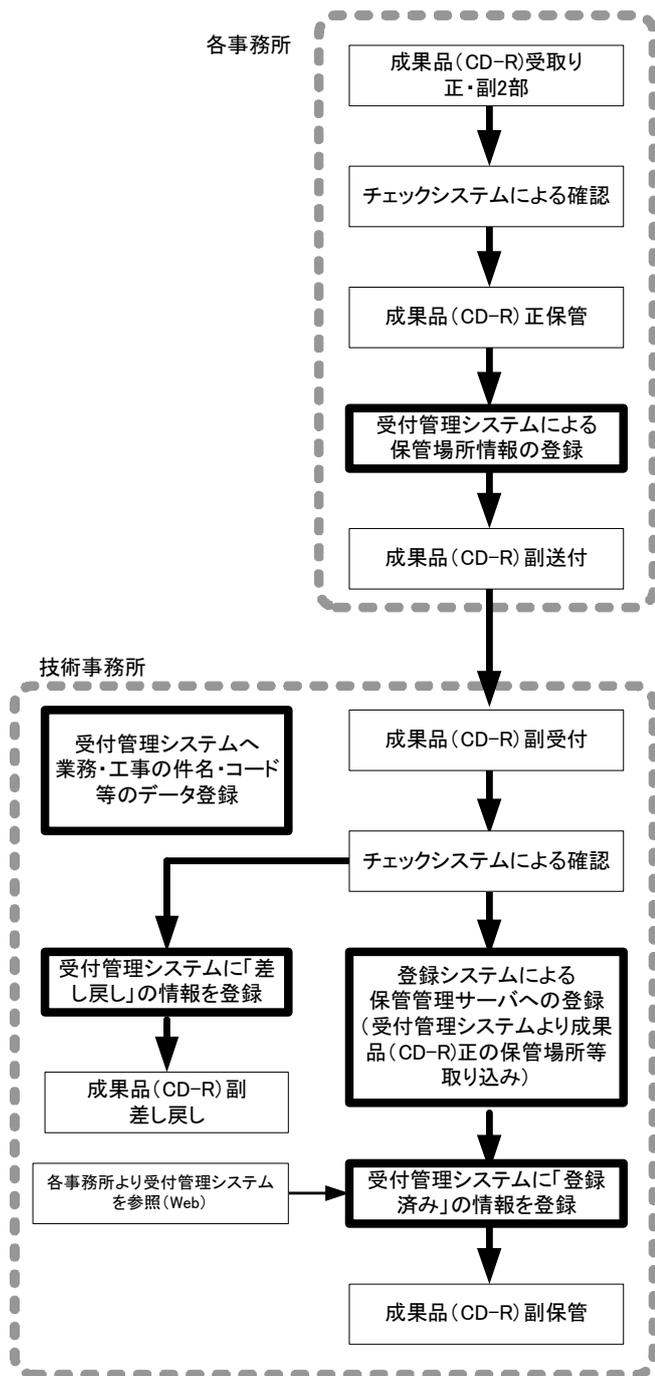


図 4-14 受付管理システム導入による運用の流れ

表 4-5 「受付管理システム」の検索機能

検索項目	内容
状態検索	受付状態（無、有、差し戻し）
全文検索	キーワード
項目検索	初期データ、件名、事務所名、業種、発注年度、納品状態等

③受付管理システムの機能

「受付管理システム」の設計において以下の機能を設定した。

a) 初期データ登録

電子納品 CD を登録するに当たり、各 CD と発注した工事・業務等に対応させる初期データを作成し、受付管理システムに取り込むこととした。

○初期データは、本局・技術管理課より入手できるデータを利用する。

○データファイル等で入手可能なデータとし、データ登録時に必要な形式に変換する。

b) 成果品状態管理

電子納品 CD の登録状態（「受付」「登録」等）管理として、以下の機能を設定した。

○受付確認：事務所から提出された電子納品 CD の受付状態を管理する機能。

- ・初期データに該当する件名の受付状態を成果品「無」から「有」に変更する。

- ・成果品の納品状態を「紙」、「CD」、「紙・CD」より選択する。

○登録確認：北技で受付後、システムに登録するまでの状態を管理する機能。

- ・チェック実施時

チェックシステムで電子納品 CD にエラーが出た場合は、受付状態を「差戻」に変更。

- ・登録完了後

システムに登録されると、登録状態を「未」から「済み」に変更。

c) 業務検索機能

「電子納品システム」に登録されている特定の工事や業務について、状態ごとに検索できる機能を設定した。基本的な検索項目・状態は表 4-5 のとおりである。

d) データ登録機能

「受付管理システム」では以下のデータが登録できる。

○保管場所の登録

電子納品 CD (正) の保管場所が登録できる。